

家庭学習の手引き

「自ら学び、自ら考える子ども」
をめざして

徳島市沖洲小学校

沖洲小学校では、 「自ら学び、自ら考える子ども」を めざしています。

日ごろは、本校の教育活動にご支援、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。

さて小学校教育においては、「生きる力」の育成が求められています。また、そのもととなるものとして、自分の力で「考えること」「判断すること」「表現すること」が大切です。

小学校の学習は、将来、社会人として自立するための基礎となるものです。この「生きる力」のもとになる基礎基本の学力を高めていくために、日々取り組んでいるところです。特に、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「計算すること」は、欠かすことができません。

最近、子どもたちに力を付けることにつきまして、ご家庭の関心も強くなったと感じます。特に、家庭学習についてのご質問が増えてきました。例えば、次のような内容です。

- 適当な家庭学習の時間は？ ○ 家庭学習の内容は？

このようなご質問に対して、沖洲小学校として、「めやす」を示しておく必要があると考えました。ご家庭と連携を深めていくことによって、子どもたちの力が何倍にも高められたとの報告も増えております。

沖洲小学校でも、家庭学習の習慣化についても取り組んでいきたいと思っております。しかし、いきなり難しいことをしていくのではなく、段階的に、しかも普段の生活や環境のことから、進めていけばと考えています。

まずは、基本的事項として次のようなことから始めてはいかがでしょうか。

大きくは3つのことにご配慮ください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 基本的な生活習慣を見直しましょう。② 学習をするための環境を整えましょう。③ 学習習慣の定着をめざしましょう。 |
|---|

今後、ご意見をいただきながら、検討していきたいと考えております。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

そこで、保護者の皆さんにご協力をお願いしたいことがあります。

1 学習時間のめやす

本校では、10分×学年 を学習時間のめやすとしています。

低学年	10分から20分
中学年	30分から40分
高学年	50分から60分

2 家庭学習をより効果的にするために

① 学習時間の確保

子どもたちも、スポーツ・塾や習い事など、いろいろと忙しいと思います。そのような中で、短い時間でも、学習する習慣を身に付けさせることはとても大切なことです。

無理のないように、時間を設定してみてください。

② 学習するための環境づくり

例えば、テレビをつけながら学習しても、効果はあがりません。お子さんが落ち着いた環境の中で学習できるようにしていくことも大切なことです。

テレビやゲームの時間を決めるなど、お子さんと話し合っ、ルールを決めてみてはいかがでしょうか。

③ 見届けと励まし

子どもは、褒めたり励ましたりすることで、どんどんとやる気を出してきます。おうちの人も見てくれているという実感をもたせるためにも、少しでもいいので、できたことを見てあげていただければ有り難いです。

さらに、その頑張りを褒めてあげると効果抜群です。

④ 学校との連携

お子さんの学習の様子で、気になること等があれば、担任まで連絡帳や電話でお知らせ下さい。ご家庭と学校が、同じ方向で取り組むことが大切だと考えています。

ねんせい 1・2年生のみなさんへ

1 つぎの8つのことを、おうちでがんばりましょう。

- ① よるは、早くはやねましょう。あさは、早くはやおきましょう。
- ② あさごはんを、まい日にちたべましょう。
- ③ テレビはけして、べんきょうしましょう。
- ④ まず、先生せんせいからいわれたしゅくだいをしてしまいましょう。
- ⑤ しゅくだいではないことも、べんきょうしてみましょう。
- ⑥ 学校がっこうにいくよういは、まえの日ひにしましょう。
- ⑦ ふでばこの中のえんぴつを、まい日にちきちんとけずりましょう。
- ⑧ おうちのお手てつだいも、しっかりしましょう。

2 しゅくだいのほかに、べんきょうすればいいものとは。

れい <u>例</u>	おんどく	<ul style="list-style-type: none"> ○おお<small>おお</small>きなこえで、本<small>ほん</small>をよみましょう。 ○すらすらよめるようにしましょう。
	こくご かんじ	<ul style="list-style-type: none"> ○かきじゅん、もじのかたち<small>き</small>に<small>き</small>をつけてかきましょう。 ○ただ<small>ただ</small>正しいしせいで、ていねいにかきましょう。 ○こくごの本<small>ほん</small>を見て、れんしゅうしましょう。
	どくしょ	<ul style="list-style-type: none"> ○じぶんがよみたい本<small>ほん</small>をよみましょう。
さんすう	けいさん	<ul style="list-style-type: none"> ○たしざん、ひきざんをれんしゅうしましょう。 ○2年生<small>ねんせい</small>は、九九<small>くく</small>をれんしゅうしましょう。 ○けいさんカードや九九<small>くく</small>カードで、れんしゅうしましょう。
そのた		<ul style="list-style-type: none"> ○テストでまちがったところを、もういちどやりましょう。 ○日<small>ひ</small>きをかきましょう。 ○けんばんハーモニカのれんしゅうをしましょう。 ○なわとびのれんしゅうをしましょう。 ○本<small>ほん</small>をよんで、おもったこと<small>ぶん</small>を文<small>ぶん</small>にまとめましょう。

3 きをつけること

- ① まい日にち、つづけてしましょう。
- ② じぶんでやっていきましょう。
- ③ ていねいにしましょう。

3・4年生のみなさんへ

1 次^{つぎ}の6つのことを、家でがんばりましょう。

- ① 早寝・早起きの習慣^{しゅうかん}を身に付け^みましょう。
- ② 朝ごはんを毎日^{まいにち}食べ^たましょう。
- ③ 学校^{がっこう}に行く用意^{ようい}を、前の日^ひのうちにしま^しましょう。
- ④ まず宿題^{しゅくだい}をしてしま^しう習慣^{しゅうかん}をつけ^つましょう。
- ⑤ 宿題^{しゅくだい}以外^{いがい}に、自分で考^かえて家庭学^{かていしゅう}習^{しゅう}をしていき^いましょう。
- ⑥ お手伝^{てだ}いをしま^しましょう。

2 宿題以外^{しゅくだい いがい}で、勉強^{べんきょう}すればいいものとは ※ 専用^{せんよう}のノート^{じゆん}を準備^{じゆん}しま^しましょう。

例

国語	音読	○今勉強 ^{べんきょう} しているところを何回 ^{なんかい} 読むか自分で決 ^き めて、声を出 ^で して読みま ^よ しょう。 ・すらすらと ・気持ち ^も をこめて ・聞 ^き いている人に意 ^い 味が伝 ^{つた} わるように
	漢字	○今までに習 ^{なら} った漢字 ^{かん} をノートに練 ^{れん} 習 ^{しゅう} しま ^し ょう。 ・漢字ス ^{かん} キ ^ル などの手本 ^{てほん} を見 ^み ながら、「とめ」「はね」「はらい」などに注 ^{ちゅう} 意 ^い してていねいに練 ^{れん} 習 ^{しゅう} しま ^し ょう。 ・漢字一 ^{かん} つ ^だ けを書 ^か くのではなく、「じゅく語 ^ご 」や「短 ^{たん} 文 ^{ぶん} 」で書 ^か きま ^し ょう。 ・正しいし ^し せいで、ていねいに書 ^か きま ^し ょう。
	読書	○ 図書室 ^{とんしゆしつ} や家 ^{いへ} の本 ^{ほん} などを読 ^よ み、思 ^{おも} ったこと ^{こと} を文 ^{ぶん} に書 ^か いてみま ^し ょう。
	意味調べ	○辞書 ^{じしょ} の使 ^{つか} い方を学 ^{がく} 習 ^{しゅう} したら、辞書 ^{じしょ} を使 ^{つか} ってど ^ど ん ^ど ん言 ^{こと} 葉 ^ば の意 ^い 味 ^み を調 ^{しら} べま ^し ょう。
算数	計算	○学校 ^{がっこう} の勉強 ^{べんきょう} をふりかえりま ^し ょう。教科書 ^{がくしゆ} や「考 ^か える算 ^{さん} 数 ^{すう} 」「計 ^{けい} 算 ^{さん} ス ^ス キ ^ル 」「テ ^て ス ^す ト」な ^な どの問 ^{もん} 題 ^{だい} をくり返 ^{かえ} しま ^し ょう。 ○かけ算 ^{かけさん} やわり算 ^{わりさん} などが正 ^{ただ} しく計 ^{けい} 算 ^{さん} でき ^き るよ ^よ うに、何 ^{なん} 度 ^ど も練 ^{れん} 習 ^{しゅう} しま ^し ょう。
	技能	○三角定規 ^{さんかくていけい} や分度器 ^{ぶんどき} 、コンパスなどが正 ^{せい} 確 ^{かく} に使 ^{つか} えるよ ^よ うにくり返 ^{かえ} し練 ^{れん} 習 ^{しゅう} しま ^し ょう。
その他		○プリントやテストでまちがったところを、もう一 ^{ひと} 度 ^ど といてみま ^し ょう。 ○日記 ^{にじ} を書 ^か きま ^し ょう。 ○リコーダーの練 ^{れん} 習 ^{しゅう} をしま ^し ょう。 ○理科 ^{りか} や社会 ^{しゃかい} の本 ^{ほん} を読 ^よ み、大 ^{だい} 切 ^{せつ} なこ ^{こと} がらをま ^ま とめま ^し ょう。(絵 ^え や図 ^ず もかいてみま ^し ょう。)

3 気^きをつけること

- ① 毎日^{まいにち}、続^{つづ}けてしま^しょう。
- ② 自分でや^やっていき^いま^しょう。
- ③ ていねいにしま^しょう。

5・6年生のみなさんへ

1 次の6つのことを、家でがんばりましょう。

- ① 早寝・早起きの習慣を身に付けましょう。
- ② 朝ごはんを毎日食べましょう。
- ③ 学校に行く用意を、前の日のうちにおきましょう。
- ④ まず宿題をする習慣をつけましょう。
- ⑤ 宿題以外に、自分で考えて家庭学習をしていきましょう。
- ⑥ 進んでお手伝いをしましょう。

2 宿題以外で、勉強すればいいものとは ※専用のノートを準備するのもよいでしょう。

例	音読	<ul style="list-style-type: none"> ○今勉強しているところを「つまらずに読める」ようにすることはもちろん、情景を思いうかべながら「感情を込めて朗読する」など、めあてをもって練習しましょう。 ○詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしましょう。（お家の人などに聞いてもらいましょう。）
	漢字	<ul style="list-style-type: none"> ○今までに習った漢字をノートに練習しましょう。 ○漢字ドリルなどの手本を見ながら、「とめ」「はね」「はらい」などに注意して、ていねいに練習しましょう。 ○漢字一文字だけを書くのではなく、「熟語」や「短文」で書きましょう。毎日の連絡帳下段の取組をていねいにしましょう。 ○正しい姿勢でていねいに書きましょう。
	読書	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな種類の本を読み、心に響いたところをメモしたり、感想を短く書いたりしてみましょう。
	意味調べ	<ul style="list-style-type: none"> ○辞書を手ぎわよく引いて、言葉の意味を調べましょう。
算数	計算	<ul style="list-style-type: none"> ○計算力の向上をめざし、まちがえた計算をくり返し練習しましょう。 ○答えの確かめを自分でできるようにしましょう。
	思考	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の「学びをいかそう」の「やってみよう」、「算数資料室」を利用して、発展学習に取り組んでみましょう。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○テストでまちがったところは、必ずもう一度解いてみましょう。 ○日記や感想だけでなく、何かを紹介する、何かの仕方を説明するなど、さまざまなタイプの文章を書く機会を増やしましょう。 ○教科書やワーク、プリントなどを参考にして、自主学習をしましょう。 ○理科や社会の本などのページを正確に「写して」みましょう。 ○新聞（特に、小学生新聞）を読み、社会のできごとや自然現象に関心を持ちましょう。

3 気をつけること

- ① 毎日、続けてしましょう。
- ② 自主的に取り組みましょう。
- ③ 計画的に学習しましょう。